

## 令和元年度中野市長例記者会見（8月） 顛末

- 期日 令和元年8月28日（水）
- 時間 午後1時30分～2時05分
- 会場 市役所5階 52・53号会議室
- 出席社 3社（テレビ北信、信濃毎日新聞、北信ローカル）

質疑について、以下のとおり

### <質疑応答>

#### ○発表の内容について

##### 【北信ローカル】

移住定住について、市長として具体的な目標値などお持ちであれば教えていただきたい。

##### 【市長】

これについては地方創生、総合戦略の中でもうたっているわけだが、入ってくる方はどこまでが移住者なのか定かになっていない。目標の数値を具体的にというよりも、ターゲットとすれば「人口が減らないこと」が大切。

総合戦略の中で37,500という数字を掲げているが、それに向けて取り組んでまいりたい。

##### 【北信ローカル】

それについて、当面予定されている施策、具体的に考えられているものがあれば、教えていただきたい。

##### 【市長】

よくいわれるが、最大の課題は「就業」。なりわいが立つかどうかだと思う。農業をはじめ、この地域でいかに就業の機会が設けられるかが政策の要になるだろうと思っている。研究を重ね、より有効性の高い施策をとっていく。

##### 【北信ローカル】

具体的なアイデアなどはあるか。

##### 【市長】

地域に仕事をマッチングさせることも大事だが、起業や就農の支援の在り

方、厚い支援体制を構築できるかが肝要。そういった機関、プラットフォームを作っていければと考えている。

**【信濃毎日新聞】**

国保税が県に移管された。中野市では数年ぶりに上がった。高所得者が多かったりするとどうしても高く設定されたりする部分があるが、移管のことも含め全体的にどう受け止め、感触を持っているか。

**【市長】**

基本的には長野県での一本化は将来を見据えると良いことだと思う。自治体によって扱いが違うという部分もあるが、適切に作業を進めていくことを市長会からも要請しているところ。

**【信濃毎日新聞】**

一部では、努力している自治体に不公平という声もあるが。

**【市長】**

中野市では「健康長寿のまち」を宣言し、健康寿命を意識し医療費の抑制に努めている、にも関わらず保険料が高いという面があるため、努力した分には報いてもらいたいというのはある。

今の保険料算定の基準にそういったものは持ち込まないのか、色々な場で発言はしているところ。公平性という部分では県でも真剣に取り組んでもらいたいと思う。

**【信濃毎日新聞】**

努力しているところはメリットがあるような、そういう仕組みが検討されるよう、意見はしているということか。

**【市長】**

医療の偏在の問題にもかかわっていて、病院の少ないところは医療を受けられる機会が少ない。医療が充実している地域と比べてどうなのかということもあり、デリケートな問題でもあろうかと思う。県に移管されたこともあり、そういった公平性に係る問題についても最終目標として取り組んでもらいたい。

## ○その他について

### 【信濃毎日新聞】

阿部知事が護国神社の支援組織の会長になっており、政教分離のうえでどうなのかという指摘の声があるが、市長はそういう組織に関係するようなものはあるか。

### 【市長】

どこまでが公人でどこまでが私人かということ。線引きは難しいと思うが、政教分離は制度的な裏付けの他に、その人が持っている個人的な心情も強い。その人が考えるところのモラル、考え方。これさえしっかり見極めれば良いのではないかと思う。

### 【信濃毎日新聞】

実際に、例えば神社の関係、氏子総代とかそういったことをやられているというようなことはないか？

### 【市長】

特にやっていない。